しずおか自治連だより

平成28年9月10日現在推計人口702,258人 自治会・町内会数952会

🖁 静岡県警察と振り込め詐欺被害撲滅のための協定を締結

静岡県自治会連合会は、県下で多発するオレオレ詐欺を始めとする 振り込め詐欺被害撲滅のため、平成28年7月5日、静岡県警察と協定を 締結しました。

協定の主な内容は、自治会から推薦を受けた人が、警察署長から 「振り込め詐欺撲滅指導員」に委嘱等され、同指導員が振り込め詐欺 被害防止活動を行います。

本年度は、静岡市清水区など5市区の自治会がモデル地区となり、 来年度以降県下全域で実施します。

県内では、6月末現在、184件、約4億6,000万円と一日一件以上の振り込め詐欺被害が発生しています。振り込め詐欺を撲滅するため、私たちも一丸となって振り込め詐欺撲滅に取り組みましょう。



自治会ホームローヤー制度について

平成26年3月より静岡市自治会連合会及び静岡県弁護士会の協定により、自治会ホームローヤー制度が開始しました。この制度は、各地区の担当弁護士に電話で無料相談ができるというものです。

平成26年4月からの1年間で、受付件数1,051件、相談件数884件、事件として受任した件数37件の実績を挙げており、市民の皆様にとって問題の早期解決、紛争の予防、被害の防止に役立っております。

お困りのことがございましたら、お住まいの地域の担当弁護士にお気軽にご相談下さい。

熊本地震義援金協力のお礼(報告)

義援金全額を、日本赤十字社静岡市地区本

部長田辺信宏静岡市長に託しました。静岡市自治会連合会会員の皆様から34,197,132円もの多くの温かい善意をありがとうございました。



殿 会 糟 高 村 坪 副 瀧 会 岡 計 谷 山 松 井 長

岩 祥 茂 勝 英 義 雄 道 宏 美 明 弘

豊 忠 夫 勝 栄 明 保 彦 義 男 男

静岡市自治会連合会 役員紹会平成ニナバ年度

JR静岡駅近く、東西に長く位置している伝馬町学区自治会連合会は、19の自治会で組織されています。自治会連合会には、 防災害対策委員会・教育対策委員会・福祉対策委員会・交通対策委員会の四つの委員会があり、それぞれ活発な活動を行って います。今回はその中から教育対策委員会の活動をお知らせします。





■小学生への「朝の声掛け運動」

教育対策委員会の活動の中から「お早う運動」についてご披露します。 この運動は教育対策委員会が、毎週月曜日に、伝馬町小学校正門の 前で登校してくる児童生徒に、正門前の交通安全の見守りも兼ね「お早う ございます」と声を掛ける運動で、校長先生もご一緒して戴いて永年に 亘っておこなっている運動です。

声を掛けると、児童からも 元気な挨拶の声が返って 来て、とても清々しい気持 ちで一日が始まります。

これからも児童生徒の 礼儀作法の教育に、少しでも お役に立てればとの思いで、 続けて行きたいと思っています。



■徳川家康公ゆかりの寺院を尋ねて

横内学区自治会連合会 会長 久保田雅士

昨年11月12日、横内学区、伝馬町学区にあります来迎院、華陽院、清水寺、長源院、連永寺をガイドの駿府ウェーブの方々の説明を受けながら60名余の参加者と共に散策を楽しみました。今年も地元の歴史、伝説等を掘りおこして、



幼稚園、学校、地域の方々のご協力をいただきながら街おこしを行う予定です。住んで楽しい街、お役にたてればと思います。お楽しみに。





SURUGA

二十一年後へつなげたい宇津ノ谷の歴史

伊勢物語の中で詠われた和歌が、名前の由来とされる宇津ノ谷峠の集落。平成になって修景され た板塀の家並みは、訪れる人が感動する観光スポットとして、観光に力を入れる静岡市の貴重な財産となっています。

奇しくも今年は、慶龍寺に所蔵される弘法大師作と口伝の「延命地蔵尊」が、二十一年ぶりに御開帳され多くの方が訪れました。



しかし、宇津ノ谷地区から今年小学校に通う子供は一人だけで、二十一年後の御開帳の主役不在の恐れが懸念されます。

ほかにも、秀吉から授かった現存するお羽織にまつわる伝承や、鬼を十の団子にして退治したといういわれの十団子説など、失ってはならない宇津ノ谷の歴史が、 絶滅危惧種に指定されそうな深刻な事態となっています。

静岡市市民局が昨年から始めた「地域リーダー人材養成講塾」の卒業生を中心 に発足した『宇津ノ谷倶楽部』と、地元宇津ノ谷の人たちが知恵を出し合い、協 力して伝統をつなげて欲しいと期待されています。

■長田東みまもり隊

平成27年10月に発足した長田東みまもり隊は、小・中学校の下校時を中心に犯罪及び交通事故防止のために活動しています。各町内でバラバラだった活動を集約して危険地点を中心に人員配置をしています。約150名のみまもり隊員が活躍中です。





寸



■国道150号静岡バイパス整備

駿河区の海岸沿いを東西へ走る国道150号では現在、バイパスと久能拡幅の 事業が進められています。

静岡バイパスは高架事業、久能拡幅は4車線化事業となっています。

この二つの事業が完成することにより、市内の国道150号がすべて4車線となり、 国際拠点港湾清水港と浜松を結ぶ大動脈が完成し、渋滞の解消、物流や観光の 活性化、さらには生活道路としても活用されるなど様々な効果が期待され、早期完 成の期待が高まっています。

久能拡幅事業には、大幅に予算アップされており、用地取得も更に加速する見込みです。

また、中島地区の高架工事は平成30年前半の完成が見込まれます。

これにより、国道150号中島交差点の交通渋滞の解消も期待できます。

更に中島地区バイパス高架橋は津波避難場所としても活用できるよう高架橋に繋がる階段工事の準備が進められています。

■下川原に雨水貯留施設が完成しました

下川原地区は、平成15年7月と16年6月台風と梅雨前線による局地的豪雨により、浸水被害が発生しました。

2年で延べ538戸が床上、床下浸水し国道150号が冠水し長時間通行止になり住民生活に甚大な影響が出ました。

静岡市では水害対策として、地上の物件にも環境にもやさしい 地下埋設の貯留管方式を採用してくれました。



貯留管の規模

内径4m 長さ1,110m 小学校25mプール35杯分 13,200㎡を貯留し、晴天 時に長田浄化センターのポ ンプ室で汲み上げ近くの丸 子川に排水します。

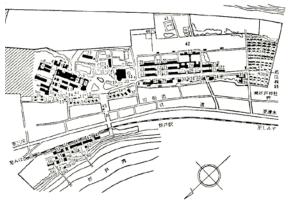


ORIDO 丁尸ってどんなとこ

「こども園から大学まで揃う文教地区」

太平洋戦争中の昭和18年4月、折戸に清水高等商船学校(東京・神戸両高等商船学校が統合) が開校しました。生徒は全国各地から3,600人も集まり、学校の敷地は現在の県立清水南高から清 水三保第二小のあたりまでおよそ22万㎡と広大で、生徒や職員など約5,000人が住んでいましたが、 昭和35年には清水高等商船大学が東京へ移転(東京商船大学)しました。





その後、跡地は、県立清水南高等学校と同中等部、国立清水海上技術短期大学校、東海大学海洋学部、静岡翔洋高校、同 中等部、同小学校、同幼稚園、清水三保第二小学校及び清水折戸こども園の学校施設が10校、並びに国際水産資源研究所 の文教地区です。折戸は、多くの学生や教員、研究者等と地元住民が仲良く暮らす街です。また、折戸で生まれて、折戸の学校 に通い、折戸の会社で働き、折戸に住んでいる人がいます。

「折戸なす」は、昨年より清水三保第二小学校と静岡翔洋小学校に地元の農家さん が折戸なすの苗を学校菜園に植えて子ども達と一緒に栽培しています。

最近では、地域と学校との連携・協働した活動が盛んになり、東海大学や行政と一緒に 折戸潮彩公園の計画から完成するまでに至りました。





今年で37回目を迎える「折戸まつり」は、まちづくり事業の 中での重点事業に位置付け、地域ぐるみで次代を担う青 少年の心を育む活動の一環であります。各種団体による 多様な催しを行います。

瀬織戸神社は、今からおよそ1230年前に奉られた歴史 ある杜です。

境内松の大樹は400年を経たといわれ、保存樹木に指 定されています。また、古くから太鼓が奉納されており、「折 戸太鼓保存会 |があって10数曲を代々受け継いでいます。

平成元年10月、町内有志により「辨天神輿」が奉納され、 秋季例祭の祭典日には町内旧道を練り歩きます。